



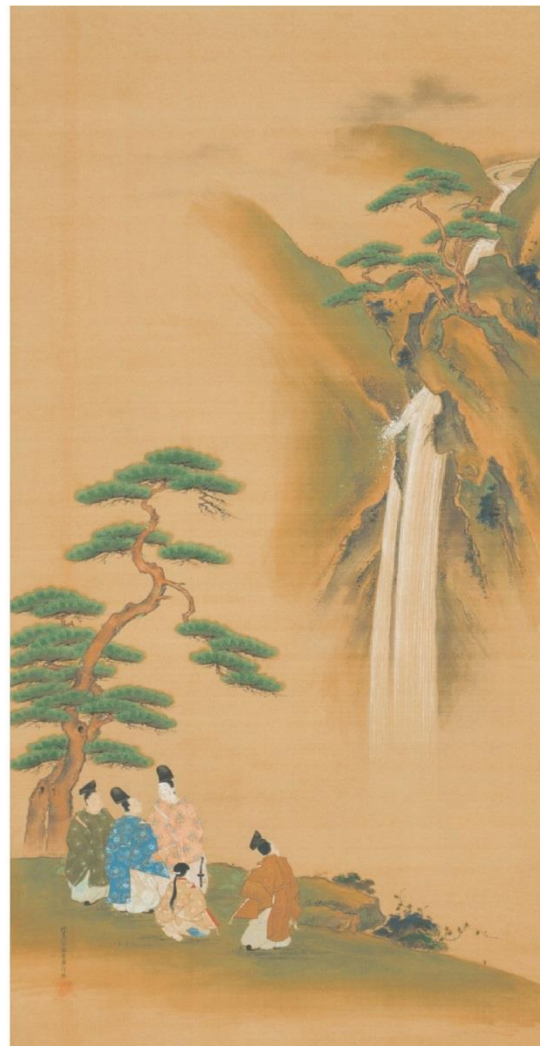
## 動と静

会期 【前期】2018年6月30日[土]—8月23日[木] 【後期】8月24日[金]—9月30日[日]  
会場 ハラ ミュージアム アーク 特別展示室 観海庵

絵画や彫刻、書など、作品に現れる《動と静》に注目し、構成した展覧会。



【図版1】雪村「列子御風図」一幅 室町時代16世紀 [前期展示]



【図版2】住吉広行「布引滝図」一幅 江戸時代18世紀 [後期展示]

昔から洋の東西を問わず、絵画や彫刻といったそれ自体は動かない造形物の中に《動》を表現して力や速さを感じさせたり、その逆に、動かない造形物だからこそ《静》を強調させたり、美術表現はさまざまな可能性を追究してきました。筆致が喚起する勢いや動き、画面の構図や余白が醸し出す力や静謐さ等々、今回はそのような《動と静》の表現に注目し、原六郎コレクションから選んだ日本の古美術作品を展示いたします。風景・人物・動物などの絵画表現（狩野派、雪村、住吉広行ほか）だけでなく、筆によって書かれた文字（本阿弥光悦ほか）もまた、この視点から鑑賞すると興味深いことでしょう。



# HARA MUSEUM ARC

【図版 1】雪村「列子御風図」一幅 紙本墨画 室町時代 16 世紀 [前期展示]

列子は中国・戦国時代の道家の一人で、風を意のままに操ることができたと伝えられる仙人。恍惚とした表情で天空を浮遊する姿が描かれています。あご髭や身にまとった衣、箆が右上方へなびいている様子から、吹き抜ける風の動感が伝わります。また、風をはらんだ衣の袖や裾の独特な形態表現も、画面に躍動感を生んでいます。

【図版 2】住吉広行「布引滝図」一幅 絹本著色 江戸時代 18 世紀 [後期展示]

『伊勢物語』より、布引の滝の前で歌を詠じる場面。人物の毛髪は細い墨線を重ねて表現され、また狩衣の文様は金泥をまじえた彩色によって細やかに描き込まれています。淡墨と胡粉の線による滝には、胡粉を飛ばして水しぶきも表現され、人物をはじめ諸景物にいたるまで細密な描写でありながら、軽淡で繊細な筆致で描かれています。



【図版 3】狩野派「花鳥図屏風」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 六曲一双 桃山～江戸時代 16～17 世紀 [前期展示]

【図版 3】狩野派「花鳥図屏風」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 六曲一双 紙本墨画 桃山～江戸時代 16～17 世紀 [前期展示]

水際で遊ぶ鴨、岩にとまるセキレイ、大きな松の枝にとまる山鳩のつがいなどが柔らかな筆致で描かれています。水鳥は豊かさや幸福を象徴し、つがい夫婦の和合と子孫繁栄を、また、鳩は平安を象徴します。



【図版 4】筆者不詳「武蔵野図屏風」八曲一隻 江戸時代 17 世紀 (部分) [後期展示]



【図版 5】本阿弥光悦「蝶下絵和歌巻」一巻 江戸時代 17 世紀 (部分) [後期展示]

【図版 4】筆者不詳「武蔵野図屏風」八曲一隻 紙本近似著色 江戸時代 17 世紀 (後期展示)

画面全体に金箔で金雲を、左上部には厚みのある銀で三日月を表します。萩や桔梗といった秋草の重なりや、細く緩やかな曲線を重ねた薄の葉の繊細な描写が画面の枠を越えて野原の広がりを感じさせ、秋の風情をいっぱいに映し出します。

【図版 5】本阿弥光悦「蝶下絵和歌巻 (古今和歌集春歌上)」一巻 紙本金銀泥絵墨書 江戸時代 17 世紀 (後期展示)

金銀泥で蝶の姿をリズムカルに描いた下絵に、『古今和歌集』春歌上に所載の和歌 8 種が描かれています。太い筆線や細い筆線、大小異なるサイズの文字をとり交え、流麗な筆致で散らし書きされている点が見どころです。





## 初展示

これまで特別展示室 観海庵にて展示する機会がなかった作品をご紹介します

【図版6】菊池容斎「源為朝図」一幅 絹本墨画淡色 江戸時代 19世紀後期  
[後期展示]

海から強い風が吹きつけ不穏な雲がかかる中、遠くの舟を見据えるひとりの武士、源為朝。その姿は、外国勢力の脅威に立ち向かおうとする幕末の志士たちを暗示しているようです。作者の菊池容斎（1788-1878）は歴史上の有名な人物を主題とした作品を得意とし、本図では弓の名手として名高い源為朝を描いています。また勝海舟による賛にもご注目ください。



【図版6】菊池容斎「源為朝図」一幅 江戸時代 19世紀後半 [後期展示]

### ■古美術 出品作品

【全期】「松竹梅時絵十種香箱」二段重箱 江戸時代 など

【前期】伝 藤原行能「雑筆往来」一卷 鎌倉時代

狩野派「花鳥図屏風」（三井寺旧日光院客殿障壁画）六曲一双 桃山時代

伝 小栗宗湛「月に猿猴図」一幅 室町時代

雪村「列子御風図」一幅 室町時代

狩野探幽「龍虎図」二幅 江戸時代

【後期】本阿弥光悦「蝶下絵和歌巻」一卷 江戸時代

筆者不詳「角力図屏風」六曲一双 江戸時代

住吉広行「布引滝図」一幅 江戸時代

菊池容斎「源為朝図」一幅 江戸時代

筆者不詳「武蔵野図屏風」八曲一隻 江戸時代

### ■現代美術 出品作家

イサム ノグチ/オノサト トシノブ/カール アンドレ

佐藤時啓/メナシュ カディッシュマン



【図版7】 特別展示室 観海庵内観

### ■特別展示室 観海庵（かんかいあん）とは

1988年の開館以来、世界の現代美術を紹介してきたハラ ミュージアムアークは、2008年、創立20周年を記念して、特別展示室「観海庵」を増設、従来の現代美術館としての活動に加え、当館ならではの視点で古美術を紹介しています。「観海庵」を手がけたのは、ハラ ミュージアムアークを設計した建築家 磯崎 新。書院造を参照して設計された空間での展示を通し、伝統と現代の交差する新しい体験の場を提案しています。



# HARA MUSEUM ARC

## 【開催概要】

展覧会名 動と静

会 期 【前期】2018年6月30日[土]ー8月23日[木]  
【後期】2018年8月24日[金]ー9月30日[日]

会 場 ハラミュージアム アーク 特別展示室 観海庵  
〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1  
Tel. 0279-24-6585、 E-mail. arc@haramuseum.or.jp

開館時間 9:30 am - 4:30 pm(入館は 4:00 pm まで)

休 館 日 木曜日(8月中は無休)

入 館 料 一般 1,100 円、大高生 700 円、小中生 500 円

※「うごくとまる」展(会場 現代美術ギャラリー)も併せてご覧いただけます。

原美術館メンバーシップ会員無料、70歳以上半額、20名様以上団体割引。

学校団体は特別料金規定あり。詳細はお問い合わせください。

伊香保グリーン牧場とセットになったお得なチケットもあります。

(一般 1,800 円、大高生 1,500 円、中学生 1,400 円、小学生 800 円)

【群馬県在住の皆様へ】県内の小中学生は学期中の土曜の入館無料。

ぐーちょきパスポートのご提示により5名様まで入館料各200円割引



【図版8】伝 小栗宗湛「月に猿猴図」一幅  
室町時代 16世紀 紙本墨画 (前期展示)

併催 展覧会「うごくとまる」(会場 現代美術ギャラリー)  
6月30日[土]ー9月30日[日]

## イベント

1. Meet the Artist 泉 太郎 7月8日[日] 2:00pm- 聴講無料(要予約・入館料別)

「うごくとまる」展出品作家の泉 太郎氏によるトークイベントを開催いたします。日本初となる今回の展示作品や、これまでの国内外での多岐にわたる創作・展示活動を振り返りながら、その背景について語っていただきます。

2. アートうちわをつくろう! 8月11日[土]・12日[日]、18日[土]・19日[日]



和紙を折り込み、きれいな色で染め、できた模様を楽しみながら  
うちわに仕上げるワークショップです。

(予約可、各回定員20名) 参加費: 540円(入館料別)

イベントの予約先: Tel. 0279-24-6585、E-mail. arc@haramuseum.or.jp

## 交通案内

JR 上越線「渋川駅」より(上越・北陸新幹線利用の場合は「高崎駅」で上越線に乗り換え)伊香保温泉行きバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩7分。「渋川駅」よりタクシーで約10分。車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保IC」より8km、約15分。無料駐車場あり。

【WEB】 <http://www.haramuseum.or.jp>

【mobile】 <http://mobile.haramuseum.or.jp>

【twitter】 <http://twitter.com/HaraMuseumARC>

【BLOG】 <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum/>

取材・図版提供などのお問い合わせ先: ハラ ミュージアム アーク 広報 山川、柳田(担当学芸員 安田)

Tel 0279-24-6585 Fax 0279-24-0449 E-mail [press@haramuseum.or.jp](mailto:press@haramuseum.or.jp)